

第19回日本語スピーチコンテスト

昨年11月19日、こども未来館こここで「第19回日本語スピーチコンテスト」を開催し、6か国出身の17名が出場しました。小・中学生の部で豊橋市国際交流協会会長賞を受賞した藤原ジョナスさんのスピーチを紹介します。

「ハーフは半分じゃない！」

豊橋市立豊岡中学校3年 藤原ジョナス

あなたは、今幸せですか。僕は幸せ者です。ルックスはハーフ、そして日本とブラジル、二つの国のルーツをもつ日系ブラジル人だからです。



僕は、ブラジルで生まれました。しかし、ほんの一月で来日し、小学五年生まで日本で生活していた日本人らしいブラジル人です。その後、家庭の都合でブラジルに帰国しましたが、一年後また日本に戻ってきました。家ではポルトガル語、学校では日本語を話す環境にいたため、僕は自然と二か国語が話せるようになりました。外国語が話せるって本当にラッキーなことで、友達や知り合いの通訳を通して、人と人をつなぐことに充実感を味わえます。また、体育祭のアナウンスでは、ポルトガル語で実況中継しました。「Turma 2 chega em primeiro lugar no gol!(チーム2が1着でゴール!)」まるでオリンピックの中継みたい、と見ていた人からほめられるぐらいでした。

ゴミが落ちていたら拾う、日本では当たり前のことでも、ブラジルではとても喜ばれてびっくりしたことがあります。そんな時、ほくはやっぱり日本人だなと感じます。一方で、ブラジル人だなと感じることもあります。それは、

どんなに嫌なことがあっても何とかなる、このおかげでよくなったんだよ、とポジティブな考え方をするとこです。先のことなんてわからない、それよりも今ある時間を大切にしたい、家族との時間を大事にしたい、そう思う気持ちがとても強いです。

もちろん、つらいことが全くなかったわけではありません。独り言を言っていると悪口だと思われたり、日本とブラジルでは学習内容が違うため、勉強についていくのに苦労したり、遅刻するとブラジル人だからと言われてたり、ムカッとくることもたくさんありました。でも僕には、母国が二つ、歴史も二つ、言葉も二つ、いつも二倍の喜びを感じられることの方がプラスになっているのです。

日本とブラジルでの生活経験が、今の僕を作っていると思います。これからも僕らしく、ハーフは二倍の気持ちで楽しんでいきます。



協賛：豊橋みなとライオンズクラブ

第19回日本語スピーチコンテスト ※敬称略

出場者(*は東三河日本語スピーチコンテスト出場)

【小中学生の部】

喜屋武ナタリア(石巻中)、*長手ガブリエル、*メネセス
優香里(東陽中)、*孫岳彤、*ハックアデア(南陽中)、
*大島ピアンカ(高師台中)、*ラーフェイタナボン(中部中)、
*古井美咲(東部中)、*藤原ジョナス、セナビトル(豊岡中)、
黒田愛美(下地小)、セナアガタ、平井利爽(岩田小)

【高校生以上一般の部】

花崎鑫杰、王靖博、*カヤバブネコル(豊橋西)
*中村安菜(光ヶ丘女子)

第8回東三河日本語スピーチコンテスト

東三河5市(豊橋、豊川、蒲郡、新城、田原)に在住し、各市から選ばれた外国人が、地域での生活や日頃感じていることを日本語で発表します。豊橋市からは上記コンテストから選ばれた10名が出場します。

■日時/平成30年1月28日(日)
午後1時半～

■場所/蒲郡市民会館 中ホール
(蒲郡市栄町3番30号)

■定員/516名(入場無料、先着順)

■問合せ/豊橋市国際交流協会
☎(0532)55-3671
✉tia@tia.aichi.jp

ゆたかな地域社会
づくりに奉仕する

地元とともに——
蒲郡信用金庫

理事長 竹田知史

蒲郡市神明町4番25号

☎ <0533> 69-5311 (代)
http://www.gamashin.co.jp/

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも
豊橋信用金庫

会長 吉川 一弘
理事長 山口 進

豊橋市小畷町579番地 ☎(0532)52-0321(代)
http://www.toyo-shin.co.jp